

成果指標				
成果指標	下水道事業受益者負担金(現年度分)と下水道使用料(現年度分)の徴収率。			
指標設定の考え方	前年度(現年度分)の徴収率と比較し、向上をさせることで事業執行の安定化			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	98.82	98.73	0	0
実績	98.73	98.92	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	接続促進や徴収率の向上に、今後も努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	現年度分で受益者負担金の徴収率は98.12%、下水道使用料徴収率は99.04%であり、水道課と連携して実施する給水停止も徴収対策に有効な業務であり、継続して実施する予定であるが、滞納整理のための督促強化、納付意識の啓蒙活動なども計画的に行う必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題